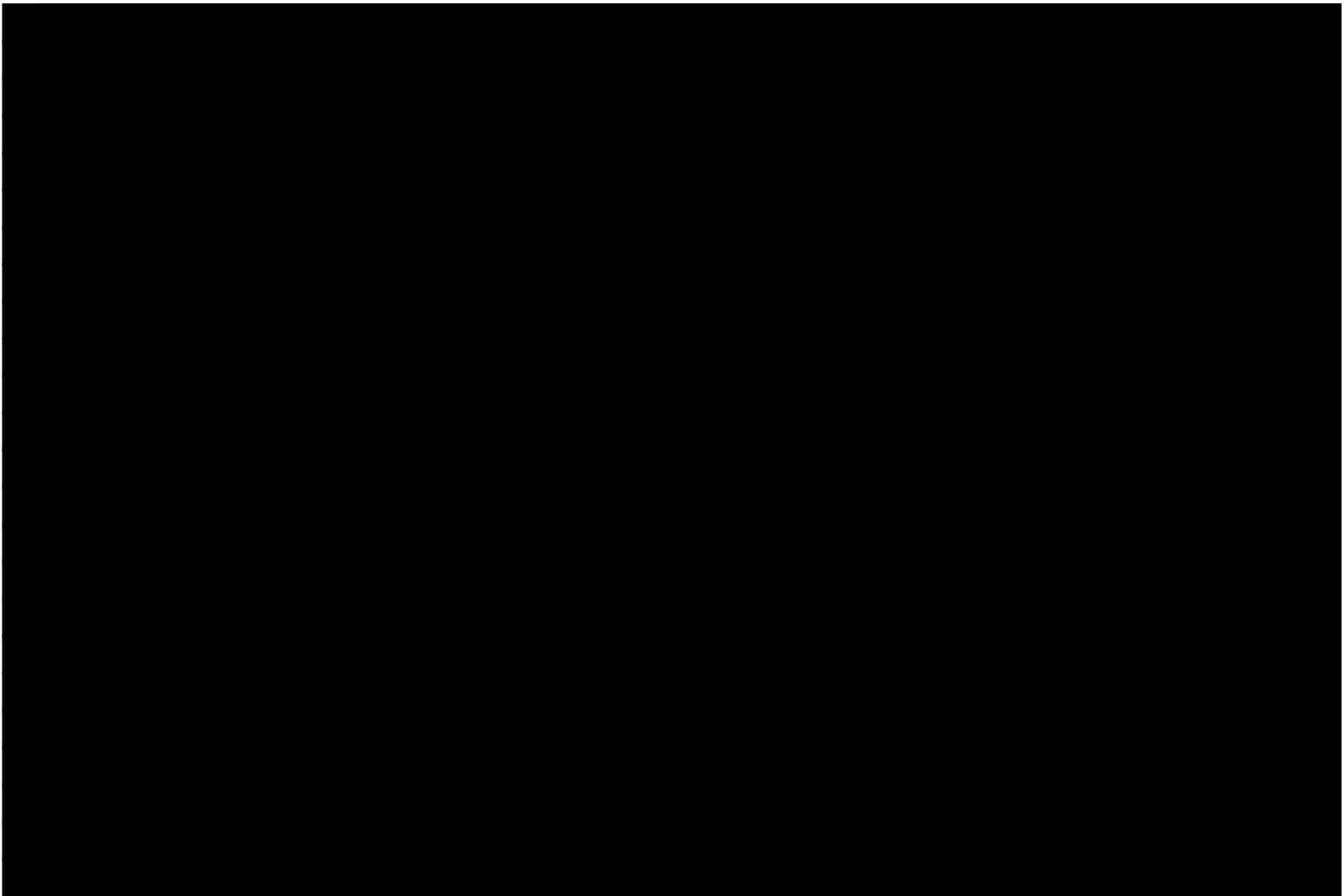


2026年度大学院博士前期課程一般入学試験（第Ⅰ期）問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 人文学専攻 哲学歴史学専修	英 語 (No. 1)

哲学歴史学専修の哲学分野の志望者は(1)、歴史学分野の志望者は(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の英文を和訳しなさい。（下線部の語については註を参照すること）



【註】

- 1 understanding 悟性、知性
- 2 faculty 能力
- 3 Introduction 序文(『判断力批判』には、第一序文、第二序文の二つの序文がある)
- 4 outgrowth 出てきたもの

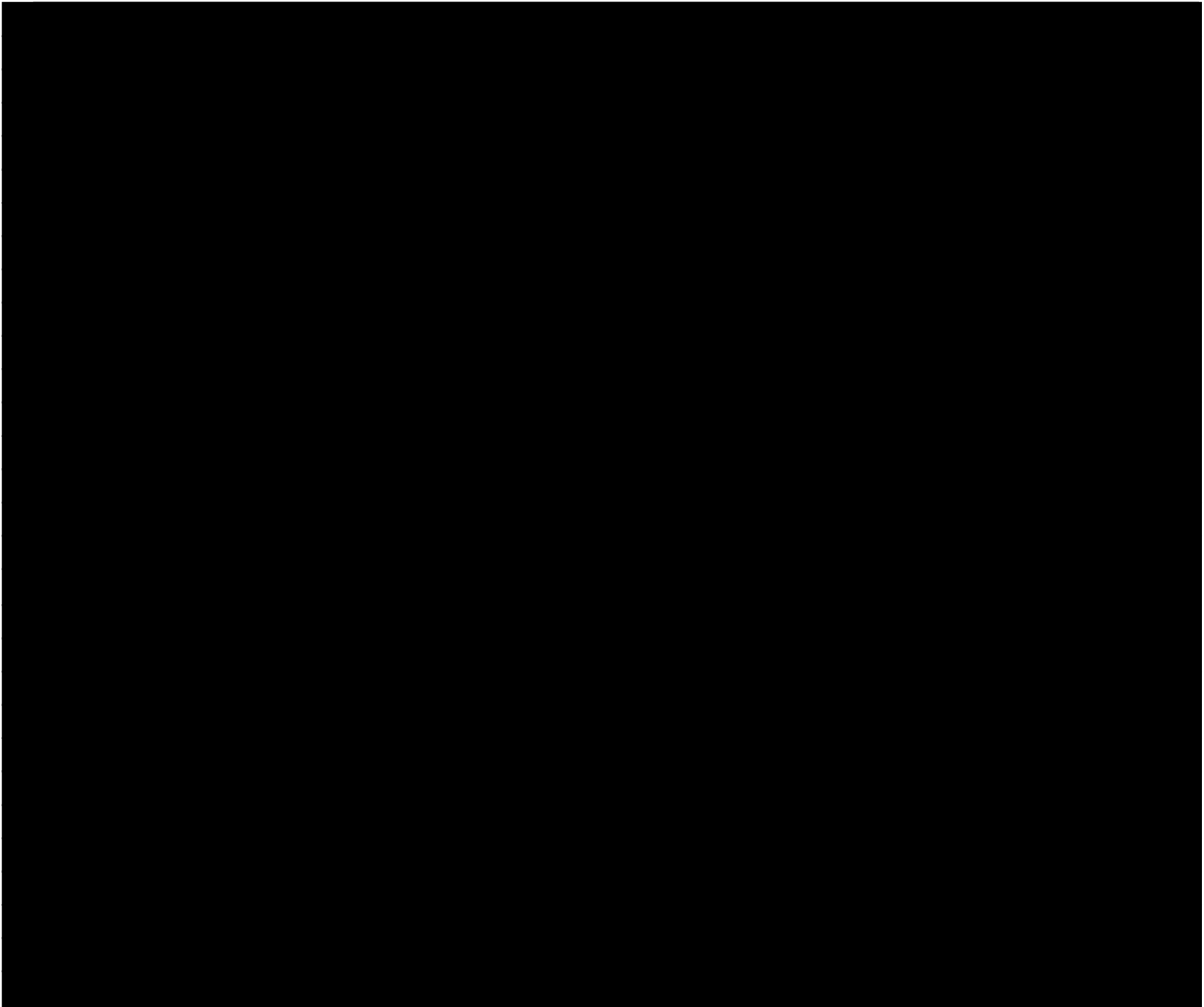
【出典】

Henry E.Allison, *Kant’s Theory of Taste*,2001

2026年度大学院博士前期課程一般入学試験（第Ⅰ期）問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 人文学専攻 哲学歴史学専修	英 語 (No. 2)

(2) 次の英文を和訳しなさい。



【註】

sui generis 固有の、独自の（ラテン語）
incoherence 一貫性の欠如、論理的整合性のなさ
condescension 見下し、恩着せがましさ
pathology 病理、病的な状態
hypostasize 実体化する

‘Or l’essence d’une nation est que tous les individus aient beaucoup de choses en commun, et aussi que tous aient oublié bien des choses.’ 「ところが、国民の本質とは、すべての個人が多くのを共有していること、それと同時にすべての個人が多くのを忘れていることにあります。」

【出典】

Benedict Anderson, *Imagined Communities: Reflections on the Origin and Spread of Nationalism*, Revised Edition, 1991.

解答または解答例：
Answer Keys or Examples：

出題意図：
Intent of Questions：

(1)哲学分野

大学院における哲学及び哲学史研究のために必要な文献を読解できる語学力を測る。哲学及び哲学史で用いられることの多い用語(外国語)の理解を確認し、また専門文献の読解のために必要な哲学史に関する知識を問う。

(2)歴史学分野

大学院における歴史学研究のために必要な文献を読解できる語学力を測る。歴史学に関わる主要な語彙や用語（外国語）の理解を確認し、また専門文献の読解のために必要な歴史学に関する知識を問う。